

介護職員の処遇改善取り組み

千歳会では、平成 24 年度より介護職員処遇改善加算を、令和元年 10 月より介護職員等特定処遇改善加算を取得しております。

千歳会で働く全ての職員にとって働きやすい環境を作るため、下記のような取り組みを行っています。

○資質の向上

- 働きながらさまざまな資格を取得できるよう、職員の希望を考慮しながら内・外部研修の機会を設けています。
- 千歳会レインボウプランに基づき、研修受講やキャリア段位を設け、人事考査にも生かしています。

○労働環境・処遇の改善

- 労働安全委員会を設け、職場の安全確保や雇用管理の改善に努めています。
- 介護職員の腰痛対策等を含む負担軽減のために、介護ロボットやリフト等の介護機器を導入しています。
- 子育てと両立できるよう、事業所内に託児所を設けています。
- 各部署、月に 1 度ミーティングを行い、職員間のコミュニケーションの充実やケア内容の改善を目指しています。
- 年 1 回、全職員を対象に健康診断（夜勤勤務者には 2 回）、厚生労働省版ストレスチェックを行っています。

○その他

- 非正規職員から正規職員への転換。
- 定年退職の年齢を 70 歳に引き上げました。